

大阪府長期精神障がい者退院 支援強化事業の取り組み

医療法人松柏会 榎坂病院
准看護師 守 亮佑



▶ 令和6年度の研修に向けて

療養病棟患者から「あまり看護師さんと話せてない」や「退院は考えてない」等の声が聞かれたり、病棟看護師内でも患者との交流が少なくなっていた。

- 実際退院を進めていくにはどうしたらいいか？
- もっと患者との交流を進めるにはどうするか？



▶ 令和6年8月21日(水)15:30～16:30

題:「退院について知ろう」

内容:～“にも包括”の取り組みから法改正のポイントまで～

- ・大阪府より 退院支援の現状について(他圏域の情報提供や事例紹介等)
- ・吹田市より 吹田市精神障がいにも対応した地域包括ケアシステム専門部会の取り組みについて
精神保健福祉法改正のポイント
- ・地域移行支援利用した当事者メッセージ
「Kさん～空も飛べるはず～」動画視聴

⇒ 大阪府福祉部障がい福祉室 生活基盤推進課

吹田市障がい福祉室

吹田市地域保健課(吹田市保健所)



▶ 当日研修参加

看護部:19名 医局:3名 コメディカル:9名

当日不参加のスタッフは後日研修動画を視聴してもらいアンケート記入する。

研修後に療養病棟の患者様を対象として「Kさん～空を飛べるはず～」の動画を視聴し、看護師が入り受け持ちグループで話し合う予定としていたが、療養病棟がインフル・コロナ感染が蔓延し一旦延期中止となる。



- ▶ 令和7年9月17・25日 14:00～14:15 OT活動時間内に療養病棟患者様対象に「Kさん～空も飛べるはず～」の動画視聴行う

参加：他病棟看護師 3名 療養病棟患者様 22名

⇒ 患者様には視聴後アンケートに記入してもらう



▶ アンケート内容

1,動画を見てどう思いましたか？

2,退院に対しての気持ちはどうですか？

①前から退院したいと思っていた②動画を見て退院したいと思った③支援を受けてみたい④退院したくなかったが、不安が強い⑤退院したくない

3,退院したい方はどこに退院したいですか？

①一人暮らし②家族の家③グループホーム④介護施設⑤高齢者施設⑥その他

4,退院したい方もしたくない方も現在の不安は何ですか？

①金銭面②食事・排泄・清潔等の日常動作③人間関係④その他

5,その他何かあれば記載してください



▶ アンケート集計

1, 動画を見てどう思いましたか？

- ・ 生活保護の人はお金だけで見られがちだけど、僕にはわかりません。世間には差別や偏見があると思います。
- ・ 私も早く退院して働きたい。
- ・ 難しいことだと思います。
- ・ 良いけど介護が必要だと思った。
- ・ 面白かった。
- ・ 他人事ではないと思った。同じ境遇で賛同できる
- ・ あんな世界もあるもんだなあと思った。
- ・ 色々な方々のサポートを受けて人は生かされていると強く感じた



2,退院に対しての気持ちはどうですか？

①	前から退院したいと思っていた	10
②	動画を見て退院したいと思った	0
③	支援を受けてみたい	1
④	退院したくなかったが、不安が強い	6
⑤	退院したくない	5



3,退院したい方はどこに退院したいですか？

①	一人暮らし	4
②	家族の家	4
③	グループホーム	2
④	介護施設	4
⑤	高齢者施設	2
⑤	その他	6 援護寮・キリスト病院・ マンション等



4,退院したい方もしたくない方も現在の不安は何ですか？

①	金銭面	12
②	食事・排泄・清潔等の日常動作	4
③	人間関係	6
④	その他	4 足が不安・いっぱい ある等



5,その他何かあれば記載してください。

- お金がどれくらいもらえて、どのくらいで生活できるか知りたい
- 家に電話して返事してもらえなかったのがかわいそうでした。
- 支援を受ける方の鍵を開ける人への、覚えていることだと思え感じました。
- 6か月以内に退院したい。
- これからしっかりしないといけないと思った。
- お金を自己管理していたが今は違う。いろいろ考えると大変。



▶ 令和7年度の研修に向けて

患者さまへの退院先としてグループホームが候補としてあがるが、各スタッフがグループホームの事業内容や具体的な面を知らないスタッフが多く、患者様に聞かれても答えられない事もあった。

→ グループホームとは？

→ 実際患者様が生活する場所はどうなところなのか？



▶ 令和7年10月22日(水)15:30～16:30

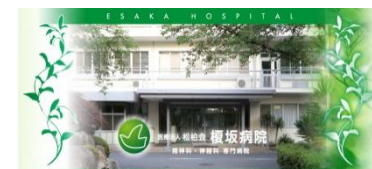
題:「障がい者グループホームを活用した退院支援について」

講師:古謝優貴氏 「みんなのグルホ」代表取締役

当日研修会参加:看護部 17名 OT 2名 コメディカル 6名

当日不参加のスタッフに研修会動画を視聴してもらい、アンケート記入をしてもらう。

⇒研修後実際に希望する患者様と一緒にグループホーム
見学を検討





令和8年2月25日(水)13:30~15:00

集団OT院外外出 グループホーム見学

場所:障がい者グループホーム「いのべーと」

参加:患者 4名(全て男性) 看護師 3名 OT 1名

内容:現地に車1台で向かう。5階建てのアパート1階2部屋を説明され見学。部屋の広さや、実際に住んでいる利用者さんの部屋も見学。またスタッフの方から、グループホームについてや、作業所などや、過ごし方など説明を受ける。説明には患者様は興味深く聞き、質問では「ケーブルテレビは見れるのか」「お金の管理は」「就寝時間」「お風呂の順番」等質問し説明受けている。見学後の感想は「まあまあ」「なんとなくイメージできた」「部屋が狭すぎる」等率直に話された。

次回は令和8年3月25日(水)他のグループホーム見学を計画中。

ご清聴ありがとうございました。



外出訓練の取り組み

令和 8 年3月17日

医療法人松柏会 榎坂病院
藤田朋代 渡邊葉月

1.はじめに

- 当院の屋外プログラムは年に4回ほどのSST(お花見・園芸等)に限られており、患者様が社会に触れる機会が極めて少ない状況にあった。
- 長期入院患者様の割合が多い当院では、社会との接点が失いやすく、さらに高齢化やADLの低下、家族の支援の困難さから、外出する機会を全く持たない方が増えている。
- こうした現状を改善するため、定期的な外出による気分転換の場を提供し、身心の活性化を図ることで社会復帰や退院支援に繋げる取り組みを2年前に開始した。

2.外出訓練の概要

- 目的

- 外出への不安の軽減や自信の回復、そして退院意欲を高める
- 社会適応能力を高め、在宅復帰や社会復帰を支援する
- 気分転換や活動性の向上を目指す

- 実施頻度 月 1 回(毎月最終水曜日)

- 場所 作業療法士と担当病棟の看護師と協議して決定

※マクドナルド、100均、しまむら、植物園等

- スタッフ体制 作業療法士+看護師

※スタッフの人数は患者数・状態に応じて調整

3.外出訓練の流れ

・実施前

計画：作業療法士と担当病棟の看護師が連携し、その月の外出訓練を企画
①目的地と移動手段
②メンバー選定



確認：①本人の意思確認
②主治医からのOT外出の許可
③【OT外出訓練対象者情報】の記入
※身体能力や支援体制、支援上の注意点を記入し、情報共有する。



オリエンテーション：
集合場所や当日の持ち物、予算の確認

・当日

出発前：①参加者の状態確認
②外出準備
③出金手続き



外出： 参加メンバーが揃い次第、出発。

《外出先》
植物園、緑地公園、ローソン、マクドナルド
商業施設(ニトリ・ダイソー・スーパー)
江坂駅周辺(ドンキホーテ、しまむら、ユニクロ、
ミスタードーナツ) 等



帰院後： ①荷物や残金の確認と入金
②参加者に感想を問う

4. とある日の外出訓練 ～買い物の場合～



1

院内で集合→駅まで徒歩移動

2

駅で切符を購入→乗車

3

降車→目的地まで徒歩移動

4

目的地で欲しい物を購入



5

駅まで徒歩移動→切符を購入し乗車
(この日は疲労感の強い方がおり、その方は車で病院へ移動)

6

降車→病院まで徒歩移動

7

病院へ到着→解散

5.課題

- **参加者の固定傾向**

意欲的な希望者は継続して参加出来ているが、誘いに対して消極的な反応を示す患者様への参加は増えにくく、『いつものメンバー』になりがち

- **目的地のバリエーション不足**

買い物では『個人の行きたい場所』が叶う江坂駅周辺や病院付近の複合施設になることが多い。また、徒歩圏内で行ける場所も緑地公園やローソンなどと限られてくる。

6.まとめ(今後の展望)

- **公共交通機関の利用**

バスの乗降、券売機での切符購入等の習得を目指し、地域での自立した社会生活へと繋げる。

- **退院後の生活を見据えた施設見学**

機会があればグループホームや作業所等の見学をプログラムに組み込み、退院後のイメージを具体化させる。

- **外出機会の提供**

車椅子利用者や活動性が低下した患者様へ、外出機会を提供し、気分転換を図る。